

インターバンクの声（2017 年 12 月 5 日）

米上院が法人税減税などを含む税制改革法案を可決、税制改革がさらに前進することを期待したドル買いに、円相場は東京市場の夕方続きニューヨーク市場の朝方にも113円台に乗せたが、その後、市場は閑散な動きとなり、112円台半ば割れまでドル売り調整が続いた。上下両院協議会で内容の異なる税制改革法案を一本化するの難しいとの見方や、フリン前米大統領補佐官の動きを中心にしたロシアゲート疑惑への懸念が強く残っていることから、米国債利回りの上昇が限定されると同様にドルの上値追いを妨げている。ニューヨーク株式市場でも、ダウ平均が一時300ドル超上げた後に大幅に上げ幅を縮めた。逆に先週末は大幅な下げから急回復するなど、相場全体が不安定な値動きを見せている。欧米市場でどこまで緊迫感が広がっているのかの情報が少ないが、米韓両軍が24時間体制の共同訓練を実施するなど、再び朝鮮半島情勢の緊張が高まっていることも注意する必要がある。米雇用統計もよほど想定外の数字がでなければ反応が薄い可能性がある。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。